

みんなので

夢 実現

平成24年度の市政執行方針と予算

新しい年度が始まりました。

この新しい1年間、どのようにすれば市民の皆さんが住み良いまちづくりを進めることができるでしょうか。

3月の定例市議会で山口市長は新年度のまちづくりを進めるための市政執行方針を説明し、そのために必要な予算が議会で決定されました。

今月の特集では、この市政執行方針と予算の概要について紹介します。

みんなで力を合わせて千歳の魅力を結集し、明るい未来に向けてまちの発展を加速させるため、今年度の市政はつぎの基本姿勢により執行します。

基本姿勢

市民協働により、住み良
い、発展が続く都市づくり

少子高齢化社会や成熟社会を迎える中、市民の皆さんが持つ知識や経験をまちづくりに生かし、そこに自らの価値観を見出すことが大切です。

市民の皆さんの参加と連携による「新しい公共づくり」を目指し、市民協働のまちづくりを進めます。

千歳には、村民が力を合わせた「着陸場づくり」という市民協働の原点があります。

また、支笏湖をはじめとする豊かな自然や恵まれた都市環境、日本一の規模を誇る自衛隊駐屯地・基地、

平均年齢が全道で一番若いまちと
いった特性と強みがあります。

これらを最大限に発揮することが
まちに勢いと活力を与えさらなる発
展・成長につながります。

今後とも、「千歳に住んでよかった」
と実感できる都市づくりを進めます。

みんなで生き生き 活力
創造都市 ちとせ

まちづくりの指針としている「第
6期総合計画」を着実に進めます。

このため、千歳を取り巻く社会動向や地域の現状・課題を踏まえて、今後の目指すべき将来都市像である「みんなので生き生き 活力創造都市 ちとせ」の実現に努めます。

また、市民の皆さんとまちづくりの目標を共有し、一体となったまちづくりを進めるため、施策ごとに目標と成果指標を設定し、取組状況を検証します。

このほか、総合計画で示された施策を具体的な形にするため、平

成24年度から3か年における必要な事業を位置づけた「第2期実施計画」をつくりま

今年の一年一字

進

1年の目標を漢字1文字で表しています。第6期総合計画と公約を着実に進める決意を込めたもので、市民の皆さんが将来に希望を持てるようなまちにするため、一歩でも二歩でも、まちの勢いを前進させようとすることを表現しています。